



つながれ KENPOKU

令和3年10月4日 発行

福島市学習センター訪問

7月9日(金) 飯坂学習センター 7月12日(月) 三河台学習センター
7月16日(金) 渡利学習センター 7月19日(月) 中央学習センター

特色ある事業や取組等を紹介します！

【飯坂学習センター】



○ 「飯坂総合文化祭&子どもまつり」

文化祭実行委員会による企画・運営により、地域住民主体の事業となっています。また、「高校生ボランティア」として福島北高の生徒も運営に関わっています。

文化祭と子どもまつりを合同開催することにより、普段学習センターに足を運ぶことの少ない子育て世代の来館を促すきっかけづくりにもなっています。

【三河台学習センター】



○ 「三河台リーダーズクラブ」

福島市地域共創課と連携し、中・高生が自分たちの住む町の将来について考える活動をしています。地域の魅力と課題を捉え、解決の方策を「提言書」という形で中央西地区まちづくり計画策定懇談会で発表し、提言が計画に盛り込まれました。

リーダーズクラブの活動は、地域の担い手となる若年層が地域づくりの主体となり、より良い地域作りについて学ぶ機会となっています。

【渡利学習センター】



○ 「令和2年11月にリニューアルオープン！」

吹き抜けの明るい雰囲気のあるホールにサークル紹介の常設展示があり、多目的トイレや授乳室、昇降式の調理台、エレベーターなどの最新の設備を整えています。

○ 「素敵な出会いのためのレベルアップ講座」

若者の目を地域に向けるため、福島市定住交流課との連携による3館(中央、渡利、飯野)共同青年教育事業を実施し、地域づくりを担う人材づくりを目指しています。

【中央学習センター】



○ 「ヤングカレッジ中央」

年間 35 回の活動を実施しており、センター事業の柱となっています。年間活動計画に役員会を 11 回位置づけており、参加者のニーズに沿った主体的な企画・運営をしています。

○ 「福島エール川柳」

コロナ禍における学びの場の提供として、川柳講座を YouTube 配信により実施しています。桜の聖母学院高の協力を得ながら CM 作成をするなど、関連団体との連携を積極的に図っています。

令和 3 年度上半期は、福島市内 6 つの学習センターを訪問しました。それぞれの地域、住民のニーズに応え、各世代に合った事業や関係諸機関との連携による事業などを工夫して展開している様子を伺うことができました。

また、昨年度に続き、コロナ禍における様々な制限がある中で、学びを止めないために様々な試行錯誤をしながら運営をされていることがよく分かりました。

下半期は福島市以外の 3 つの自治体を訪問します。公民館運営に関する有意義な話し合いができるように準備を進めています。

話 題 の コー ナー

社会教育と SDGs



目標 4 すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



質の高い教育をみんなに

- 持続可能な開発を促進するのに必要な知識及び技能の習得
- 安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境の提供
- 生涯学習の機会の拡充と情報提供の充実

SDGs 全体を達成できるような人材の育成が必要！